

京都大学 On-site Laboratory「地震・津波未災学国際 Lab(iLETs)」の開設

The Establishment of Kyoto University On-site Laboratory: International Research Laboratory for Earthquake and Tsunami Risk Cognition and Reduction (iLETs)

○伊藤喜宏・中野元太

○Yoshihiro ITO, Genta NAKANO

The On-site Laboratory, “International Research Laboratory for Earthquake and Tsunami Risk Cognition and Reduction (iLETs),” was established in December 2024. iLETs aims to advance research in earthquake and tsunami disaster science by integrating the findings from disaster prevention studies conducted by the Disaster Prevention Research Institute in southwestern Japan with those obtained through research in Latin America, particularly Mexico. The iLETs office is at the National Autonomous University of Mexico and the Disaster Prevention Research Institute. It will be a hub for fostering collaboration and interaction among researchers from both regions.

1. はじめに

理学的な視点から沈み込み帯における地震テクニクスを比較研究する「比較沈み込み帯学」が1970-80年代に実施されて以降、沈み込み帯で発生する地震現象の理解が進んだ。一方で、学際的な視点から沈み込み帯の地震・津波防災研究を比較研究として実施する「比較地震・津波災害科学」はこれまでに体系的に実施されていない。

日本と中南米地域は、地震テクニクスや地震・津波災害の経験などが共通するため、これらの比較研究により地震・津波災害に関する地域性や地域間の共通性の理解が期待できる。これらは将来の南海トラフ地震のリスク軽減に向けた新たな視点として有用である。一方で地理的な距離が一因となって共同研究や比較研究は十分に実施されているとは言えない。我々は、近年の地震学の新たな知見（特にスローとファスト地震の知見等）を加えた沈み込み帯における地震津波災害の比較研究の必要性を踏まえた新たな学問分野の創出とその展開に向けた中核拠点の形成を考え、京都大学 On-site Laboratory のメキシコ国内への設置の申請に至った。

2. メキシコ国内の On-site Laboratory の開設

京都大学 On-site Laboratory は、海外の大学や研究機関等と共同で設置する現地運営型研究室で、海外機関等と活発な研究交流を行い、世界をリードする最先端研究を推進および優秀な外国人留学

生の獲得、産業界との連携の強化等を目的として設置される。我々はこの On-site Laboratory の枠組みを利用し、地震・津波未災学国際 Lab(略称：iLETs)をクロスバウンド型の On-site Laboratory として申請した。9月に申請が認可された後、2024年11月に、メキシコ国立自治大学メキシコシティキャンパス内と本学宇治キャンパス内にそれぞれ iLETs を開設した。iLETs では、日本側研究者が西南日本でこれまでに得た地震・津波防災研究の成果を未災学の視点から見直して、メキシコなどで得られたラテンアメリカでの知見との比較研究をメキシコ国立自治大学の研究者らと実施する。

3. 今後の展開と波及効果

iLETs では、メキシコ国立自治大学内の iLETs をメキシコ及び中南米地域における地震・津波災害科学研究のためのフィールド拠点と考える。一方、防災研究所の宮崎観測所を日本側のフィールド拠点として考え、双方のフィールド拠点を活用して比較地震・津波災害科学を実施する。

メキシコ国内への iLETs の設置により、メキシコとの国際共同研究の発展に加えて、エルサルバドル、ニカラグア、コロンビア、チリなど中南米の国々との共同研究への展開が期待できる。さらに、中南米地域の学生に向けた地震・津波災害科学に関するサマースクール、ワークショップを開催することで、中南米地域からの優秀な学生の更なる獲得も目指す。